

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 18-009

PDCA	事務事業名	賦課徴収一般事務	部課等名	福祉部 国保年金課 医療福祉担当	担当	畑中	
					内線等	383	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第3節 健康増進と医療体制の充実					
		基本施策： 2. 地域医療体制					
		単位施策： (3) 高齢者の医療制度の安定した運営					
		個別施策： ①制度の周知と安定的な運営					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、半田市後期高齢者医療に関する条例他						
対象・目的	75歳以上（及び一定の障がいのある65歳以上）の後期高齢被保険者に保険料額の決定通知書を送付し、保険料を遅滞なく徴収する。徴収方法は年金からの支払い（特別徴収）、もしくは納付書や口座振替での支払い（普通徴収）とする。						
目的を達成するための手段・活動内容	保険料の賦課決定は広域連合が行い、市は徴収事務を行う。普通徴収者に対して口座振替を勧奨し安定した財源を確保するとともに、滞納者に対しては電話催告や臨戸訪問などきめ細やかな収納対策を実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①保険料額決定通知書発送件数	15,296	15,866	16,286	件	
		②保険料納付書（期別）発送件数	5,202	5,117	5,135	件	
		③保険料額変更通知書発送件数	886	991	930	件	
		事業費	1,857	1,595	1,913	千円	
		人件費	7,998	9,898	6,066	千円	
		総事業費	9,855	11,493	7,979	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①保険料額通知にかかる1件当たりのコスト	86	73	86	円	
		②					
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①保険料収納率	実績値	99.91	99.96	99.98	%
			目標値	99.80	99.80	99.96	
		②普通徴収口座振替率	実績値	73.86	74.25	74.54	%
目標値			75.00	75.00	75.00		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	C					
		保険料の軽減措置の縮小など、制度が年々改定される中、後期高齢被保険者に対する納入通知への案内文同封や、市報・ホームページでの広報により、保険料額や納付方法について分かりやすく周知することができた。口座振替率については目標値を下回ったものの、保険料決定通知等に口座振替用紙を同封するなど勧奨することにより前年値を上回ることができた。収納率については、収納課と連携して市税を含む恒常的な滞納者に対して、滞納折衝の強化や電話催告等を行い、滞納分の解消、現年度分の滞納の抑制に努めることができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			保険料軽減措置の縮小など、今後も保険料の制度改革が予定されており、納入通知などに案内文を同封するほか、市報・ホームページにより保険料について分かりやすく周知する。口座振替については文書案内だけでなく、窓口や電話応対時などにおいても機会を捉え更に推進していくことで、安定した財源の確保とともに事業費の節減に努める。滞納者に対しては、早期からのきめ細やかな対応を継続的に行うほか、中長期及び高額滞納案件については、年々対象者数が減少しているが、収納課と連携した更なる滞納処分の強化により滞納額の縮減に取り組んでいく。				
		令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位
			①保険料収納率			99.98	%
②普通徴収口座振替率					75.00	%	